

HIC通信

Vol. 111
January 2021
Hiroshima
International
Center



目次

P2 県内留学生が紹介!「私の国と日本」

P3 ホルヘさんの日本日記

P4 事業報告

交流部

留学生生活支援センター

P9 研修部トピックス

P10 コラム

Hello Hiroshima

イベント・講座案内

Upcoming Event News

P11 JICAレポート

こちら JICA デスク



JAPANESE TRADITIONAL TOUR
(しめ縄, 餅つき, けん玉)
(東広島市)

私の国と日本

留学生紹介 ステラ アングラニさん

こんにちは、ステラです。インドネシアから来ました。広島大学に留学生として広島に住んで約3年になります。英語と幼児教育のことを研究しています。人との出会い、旅行、新しい学び、そして何よりも思い出作りが好きです。



インドネシア編

県内の留学生から母国と日本の様々な違いについて紹介してもらいます！



インドネシアのジャワの伝統的な服を着ている私と友達

■ 首都

私はインドネシアの首都ジャカルタで生まれました。交通量が多く、さまざまなライフスタイルを持つにぎやかな大都市です。ハイエンドなライフスタイルから、暗くて危険なスラム街まで、オシャレなモールやエンターテイメントから、伝統的な市場や歴史的な場所まで、いろいろな雰囲気を体験できます。ジャカルタは東京に負けないとと思います。ジャカルタ南部には、日本人が経営する本格的な日本食バー やレストランがたくさんあるので「Little Tokyo」と呼ばれるエリアもあります。

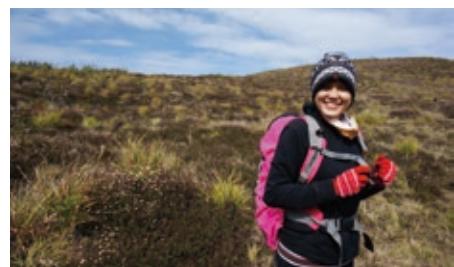


ジャカルタのショッピングモールの1つ

わい、辛さ、独特な味わいをいつも欲しがっています。日本食より油っこくて、香辛料、塩を多く使用し、たくさんの脂肪を含んでいます。あまり健康的ではないと言う人もいるかもしれません、たまにこのエキゾチックな味で食欲を満たすのは良いと思います。

■ 趣味

日本に来る前は、インドネシアでバックパッキングをしていました。よく山でハイキングしたり、海で泳いだり、キャンプをしていました。インドネシアの海で遊ぶのが大好きです。日本と違って、インドネシアは一年中同じような気温の熱帯の国なので、一年中いつでも海に行くことができます。インドネシアでは食べ物のほかに、海で遊びたいと常に思うものです。今は日本に住んでいるので、沖縄に行ってインドネシアと同じように美しい海を体験したいと思います。



プラウの山



ジャワの海で泳いでる私



カリムンジャワ海岸のリゾート

■ 交通

ジャカルタの交通では、自分の車やオートバイクを運転するとき、凄くイライラすることがあります。他の大都市も交通量が多いかもしれません、ジャカルタは、大渋滞のイメージが最も強いかもしれません。そのため、大都市の人々は、バイクや車、運転者を含めて、モバイルアプリのタクシーサービスで注文するのが大好きです。オートバイサービスは安くて速いので、ジャカルタの大渋滞した交通に対処し、時間を節約するのに適しています。

■ 食べ物

和食はシンプルで自然な味わいで、季節に合わせて魚や肉などの旬の食材が使われているので和食を食べるのが好きです。丁寧にアレンジされており、お皿のデザインも丁寧に考えられており、食欲をそそります。しかし、私にとっては、インドネシア料理の甘美な味に取って代わることはできません。インドネシアのエリアによってさまざまな、その強い味



中部ジャワにあるグデック料理



中部ジャワの料理クパタフ

■ 最後に

日本に来て勉強したり、色々な体験をする機会があることをとても感謝しています。さまざまなバックグラウンドを持つ人々との関係を築くことで、日本や他の国々についてもっと学ぶことを楽しみにしています。留学生としては母国や家族を恋しく思うかもしれません。しかし、時には、故郷から遠く離れるることは、私たちの国の価値を評価する方法の1つだと思います。そして、帰国できれば、さまざまな問題があつても、これまで以上に国を大切にすることができます。

ホルヘさんの日本日記

『はーどっこいーどっこい!』



広島県地域政策局国際課
国際交流員
ホルヘ・ロドリゲスさん

メキシコ、タマウリパス州出身。メキシコ国立自治大学で作曲を専攻し、筑波大学で国費留学生の研修プログラムで一年間日本伝統音楽及び民謡を研究した。十三弦箏、山田流に2008年に入門し、裏組を取得。

津軽三味線・民謡、井坂流に2012年に入門し、中殿を取得。現在、井坂流の広島支部に所属。

2018年に広島県国際交流員として広島へ移住し、広島県民と交流の機会などを企画している。

民謡との出会い

大学時代に世界の音楽を独学し、日本伝統音楽の様々な種類（淨瑠璃や地唄から雅楽や詩吟まで）が含まれている編集に偶然たどり着いた。その中、強く印象に残ったのは、北海道民謡のソーラン節である。民謡の特徴の一つであるお囃子、そして三味線の音色に惹かれ、民謡の道を歩み始めた。

今回は、ホルヘさんに「広島が誇る民謡～音戸の舟唄～」について紹介いただきます。

島 国である日本では、昔から船で移動したり、時代によっては船で戦ったり、それに現在に至るまで貿易や漁業を行ったりしてきました。

船に乗っている間、仕事の励みとして、あるいは時間潰しとして、または船で通った地域の特徴や経験した出来事を後代に伝えるために、船員たちが唄を作り、唄ってきました。北は北海道から、南は沖縄まで、日本全国に舟唄や沿岸漁業と関わる民謡が多く、今でも唄われています。

広島の瀬戸内海に面する地域や瀬戸内海に多くある美島から誕生した民謡も少なくありません。廿日市市の「地御前おろし唄」、広島市の「海苔取り唄」、呉市御手洗の「御手洗節」や「櫓音頭」、瀬戸内沿岸地域の「瀬戸の大漁節」など。。。そして、その中では、海辺に生まれ育てられた人の心を動かせる、倉橋島音戸町の「音戸の舟唄」



「音戸の舟唄」HOTTA, Y.氏1998年

が日本三大舟唄として指定され、全国で多く歌われています。毎年、1月下旬に音戸町で「音戸の舟唄全国大会」（今年度は中止）が行われ、年齢を問わず、全国から民謡を愛している人々が集まり、朝から日が暮れるまで「音戸の舟唄」を通して、のど自慢を見せます。

へ『ヤーレ 船頭可哀や
音戸の瀬戸でヨー
一丈五尺のヤーレーノーエ
櫓がしわるヨ』

日本三大舟唄

広島県の
「音戸の舟唄」



平 安時代の武士であった平清盛が、中国との貿易を熱望し、瀬戸内海の交通と厳島神社への航路を便利にするために、音戸の瀬戸（つまり、海峡）を開削したと言われています。

波が多く、潮の流れが激しく、万葉集では音戸町を「波多見」と呼ばれていました。当時、櫓で船を漕いでいた船員たちは大変苦労したことでしょう。

音戸の舟唄の最初の歌詞（船頭可哀や 音戸の瀬戸で 一丈五尺の 櫓がしわる）は仕事の唄として唄われ、その様子を表しています。：約4.50m（一丈五尺）の櫓が、音戸の瀬戸の渦潮でギーと音を立てて曲がってしまいます。船を漕いでいる船頭がかわいそうですね。。。



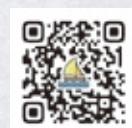
現在（2020年）の音戸の瀬戸と瀬戸大橋の様子

へ『ヤーレ ここは音戸の瀬戸
清盛塚のヨー
岩にうずしおドーンと
ヤーレノーエ ぶち当たるヨ』

音 戸の舟唄は素唄、いわゆるアカペラ、つまり歌い手の声だけで、海の力、激しい潮の流れや船の揺れを伝えています。

元々仕事唄だったものが舞台化になり、多くの人の前に演奏することになった時代になり、尺八や櫓音（櫓の音を真似する楽器）と合わせたり、現在に至るまで演奏されています。

ぜひ、音戸の舟唄の最も知られているバージョンと、呉市出身のサックス奏者の坂田あきら明さんのフリージャズバージョンを右記のQRコードで聞いてください！



たかやまのりあきら
高山順昌が広めた
「音戸の舟唄」の
フリージャズバージョン

• Activity Report •

交流部



Report 1 HIC世界体験デーを開催しました

異文化体験、国際交流を目的とした交流イベント「HIC世界体験デー」を11月23日（祝）に、ひろしま国際センターにて開催しました。今年は新型コロナの影響から、例年参加していた「国際フェスタ」への出展がなくなったため、単独でのイベント開催となりました。子どもから大人まで楽しめるよう、ゲームや工作、物販をはじめ、民族衣装の試着やインドチャイヤやポンチ・ナビデーニョ（フルーツポンチ）などを体験できるコーナーも用意しました。外国人ボランティアや広島県国際交流員によるワークショップなどのブースには、ひっきりなしに来場者が訪っていました。パフォーマンスステージでは、留学生やさまざまな団体にご協力いただき、歌や踊りで会場を盛り上げてくれました。



インドネシア民族舞踏（ケチャクの舞）



折り紙でチマチョゴリづくり



英語でおしゃべりしよう



アラビア語で名刺づくり

交流部



Report 2 令和2年度 奨学生決定通知書授与式・奨学生交流会を開催しました

外国人留学生に対する奨学生決定通知書授与式・奨学生交流会を12月7日（月），ホテルセンチュリー21広島にて開催しました。この交流会は、奨学生と協力企業・団体との交流を目的として開催していますが、今年は、新型コロナの影響から7月の交流会は中止し、各奨学生に支援企業・団体に宛てたビデオレターを作成してもらうことで代替しました。今回はコロナ対策として、参加者を分散し、各テーブルにパーテーションを設置するなどし、例年とは違った形での開催となりましたが、テーブルごとに自己紹介をし歓談をしたり、奨学生の発表では、さまざまな出身国的学生が、母国や広島での留学生活について話し、会場の皆さんには真剣に聞き入っていました。

また、永年奨学生を拠出いただいている企業・団体の皆さんを次のとおり表彰し、感謝状の贈呈をさせていただきました。

永年にわたり御協力をいただきまして誠にありがとうございます。



奨学生決定通知書授与



協力企業への感謝状贈呈



歓談

ご寄付いただきました企業・団体様へ、心より御礼申し上げます



30年連続協力企業

株式会社アスティ 中国電力株式会社
株式会社ウッドワン

20年連続協力企業

株式会社中国放送 広島テレビ放送株式会社 株式会社広島東洋カープ
株式会社テレビ新広島 株式会社広島ホームテレビ

交流部



Report 3 1/16(土)に第3回グローバルキャリアセミナー(オンライン)を開催します!

このセミナーは、海外での仕事経験をもつ講師に、ご自身の体験談や仕事の紹介をしてもらい、青少年等を対象に国際貢献・国際協力を目指すきっかけづくりを目的としています。今回は、講師の方それぞれの海外赴任地からZoomで中継をつないでお話いただく、貴重な機会です。国際関係の仕事を目指している学生の皆さん、ぜひご参加ください！！

日 時	2021年1月16日（土）15:00～17:30
講 師 (3名)	・国際連合世界食糧計画（国連WFP） 舛岡 真理氏【活動地：イエメン】 ・認定NPO法人難民を助ける会（AAR Japan） 藤田 綾氏【活動地：ウガンダ】 ・認定NPO法人国境なき子どもたち（KnK） 福神 遥氏【活動地：パレスチナ】
方 法	オンライン形式（Zoomを使用します）
対 象	中高生・大学生（一般の方も参加可）
参 加 費	無料
申 込 み	QRコードまたはURL【 https://bit.ly/37YiutT 】から



国境なき子どもたち（KnK） 福神遥氏



難民を助ける会（AAR Japan） 藤田綾氏



国連WFP活動の様子（WFP/Martin Karimi）

留学生活支援センター



Report 4 大学体験入学会を開催しました

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、開催大学が数少なくなりましたが、10月5日（月）に比治山大学、10月21日（水）に広島経済大学・広島修道大学を訪問しました。

比治山大学コースでは、県内の日本語学校生14名、広島経済大学・広島修道大学コースでは22名に参加いただきました！

入試制度の説明や模擬授業を聞いたり先輩留学生に直接質問したりして、それぞれの大学の事を知ることができました。また、カフェで昼食を食べたり、キャンパスを見学させていただいたりして大学の雰囲気を味わうこともできました。

また、大学体験入学会WEB版として、広島経済大学、福山平成大学の紹介を配信していますので、ご覧ください。→<https://bit.ly/3riHxk7>



大学体験入学会
WEB版



広島経済大学(カフェでの昼食)



比治山大学（先輩留学生の大学紹介）



広島経済大学（入試制度説明）



広島修道大学（先輩留学生の大学紹介）

• Activity Report •

留学生生活躍支援センター

Report 5 留学生交流イベント(三段峡紅葉ツアー)

11月8日（日）に『合同会社ひとむすび』とコラボし、三段峡に行ってきました！参加者は、広島県内の留学生36名で、その内2名は英語通訳として活躍してくれました。

当日は天気も良く、観光客も大勢来られ、紅葉もちょうど見頃を迎えていました！3グループに分かれて、ガイドさんの説明を聞きながら、片道2.7kmの道を約50分間かけて黒淵まで歩きました。黒淵で昼食を取ったあとは、渡し舟に乗り、色々な角度から美しい景色を堪能しました。

長く広島に住んでいる留学生でも、初めて訪れたという声が多く、広島の新たな一面を発見し、体験する一日となりました。

ご協力いただいた一般社団法人地域商社あきおおたの皆さん、英語通訳をしてくれたアフィフさん（呉工業高等専門学校のマレーシア人留学生）・王子賢さん（広島大学の中国人留学生），どうもありがとうございました！



留学生生活躍支援センター

Report 6 留学生OB・OG交流会を開催しました

11月7日（土）に、留学生と日本企業に就職している留学生OB・OGとの交流会を開催し、留学生10名が参加しました。日本企業で働く元留学生5名（中国出身3名、ベトナム出身2名）を招き、就職活動を始めたばかりの留学生に対し、日本での就職活動の経験談やアドバイスを母国語や日本語でいただきました。参加した留学生は、気軽な雰囲気の中、留学生OB・OGの方にたくさん母国語等で質問し、熱心にメモを取る姿が見られました。留学生にとって大変有意義な時間となりました。ご参加いただいた企業の皆様、ありがとうございました。

参加いただいた留学生OB・OG 中国語：株ロジコム、シグマ株、株良和ハウス
ベトナム語：広島日野自動車株、株良和ハウス



留学生生活躍支援センター

Report 7 外国人留学生合同企業説明会を開催します

3月10日（水）の13時30分から16時30分に、日本での就職を希望する外国人留学生を対象とした合同企業説明会を広島市留学生会館（広島市南区西荒神町1-1）で開催します。

外国人留学生の採用を予定している20社程度の出展を予定しており、現在、出展企業を募集しています。（締切：2月5日（金））

参加対象学生は、主に2021年9月及び2022年3月に大学・大学院・短期大学・高等専門学校・専修学校を卒業予定の外国人留学生（既卒者含む）です。

また、当日は福山駅、西条駅から無料送迎バスを運行する予定です。

日本での就職を希望する外国人留学生の皆さんの多数の参加をお待ちしております。

なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、WEB合同説明会に変更する場合がありますので、御了承ください。

**外国人留学生
合同企業説明会**

3月10日（水）13時30分～16時30分
広島市留学生会館

[http://www.hiroshima-u.ac.jp/international/outline/outline.html](#)

お問い合わせ
TEL: 082-212-0366
E-mail: international@hiroshima-u.ac.jp

QRコード

企業出展申込 **留学生参加申込**

留学生生活支援センター

Report 8 留学生就職交流会(東広島)を開催しました

12月9日（水）に、東広島芸術文化ホールくららで留学生就職交流会を開催しました。この交流会では、第一部に留学生向けセミナー及び企業向けセミナーをし、第二部に出演企業（12社）ごとにブースに分かれて、会社概要やインターンシップについて説明を受けました。広島大学のある東広島市で開催したということもあり、中国、ベトナム、アフガニスタン、ガーナ、チュニジア等様々な国からの留学生が27名参加しました。留学生に合わせて、日本語だけでなく英語や中国語で説明してくださった企業もあり、熱心にメモを取りながら質問をしている留学生の姿が多く見られました。出展いただいた企業の皆様、ありがとうございました。



交流部

Report 9 外国人相談員研修会を開催しました

県や市町の外国人相談の窓口等において、応対する担当者が相談を受ける際の注意点や傾聴技法を学ぶとともに、他団体の担当者との連携促進を図りました。

【開催場所】
三次市（11月），
広島市（12月），
福山市（12月）

【参加者】
合計73人



交流部

Report 10 外国人のための出張相談を開催しました

HICから離れた地域に居住する外国人住民の利便性を図るため、地元開催の希望のあった市町において、専門相談員が出張して在留資格、社会保険、法律・人権などの相談を行いました。

【開催場所】
三次市（11月8日），世羅町（11月21日），
廿日市市（11月28日），安芸高田市（12月13日）

【相談件数】 合計7件

令和3（2021）年に、三原市、福山市での開催について調整中。



• Activity Report •

留学生生活支援センター



Report 11 「留学生交流会inみたらい」を開催しました

11月21日（土），御手洗（呉市・大崎下島）にて「留学生交流会inみたらい」を開催しました。留学生，日本人学生，地元住民の61名が参加し，昔の日本の風景が残る町並みを散策しました。

イベントでは，最初に片道15分かけて「歴史の見える丘公園」に行き，展望台から秋晴れの瀬戸内海を一望しました。そして昼食をとった後，住民の方が参加され，グループに分かれて一緒に島内を回りました。住民の方に地元のみかんなど柑橘類をもらったグループもいたり，ガイドをしてもらったりと短時間でしたが地元の方との触れ合いも楽しむことができました！

コロナ禍で制約のある中でのイベントでしたが，島の空気と地元の方の温かいおもてなしで，日ごろのストレスが吹き飛びました。

地元住民（「重伝建を考える会」）の皆様，呉市のご担当者様，そして参加の学生の皆さん，ご協力・ご参加ありがとうございました。



「転ばぬ先の杖」セミナー開催のお知らせ 「外国人」を「地域の担い手」へ

事業内容

このコロナ禍だからこそ，在住外国人と向き合い市民レベルで助け合いたいと思います。平素の付き合いと相互理解があればこそ，無用な誤解やトラブルに陥ることなく互助互恵の強靭な地域社会が実現できると思うからです。昨年度も同じ事業名で助成を頂き，外国人のニッポン暮らしの各ステージ毎に各界の専門家による解説とグループ討論を行い，そのトラブル要因の見える化に努めました。

今年度は，さらに一步踏み込んで，当事者である在住外国人と共に現場の実践家の皆さんをお招きし，現地見学や体験会も併せ，より具体的な対策を学びたいと思います。



スケジュール

「多文化共生カラフル町内会」

子どもがつくる次世代型町内会と
外国人参加型町内会のコラボ

1月9日(土) 13時～16時

ゲストハウス三國屋 ※ 廿日市市宮島中江町327

懇親会/18時～予約要 1000円

講師 フリースクール木のねっこ運営代表 横山はるみ
市民グループええじゃん代表 栗林克行

「レインボーひなんじょ体験会」

被災時の要支援者は高齢者，
妊婦等以外に性的少数者や外国人等もいる。
当事者目線で考えよう

2月20日(土) 13時～15時

あいプラザ3階講座室

廿日市市新宮1-13-1

講師 生川明広(防災士)及び
小林彩加(当事者)

「講座タイトル, 内容を調整中」

3月6日(土) 13時～15時

サポート1番館301室

廿日市市駅前1-3

講師 尹 成化
(タブマネ/ええじゃん副代表)他

※三國屋は，コロナ対策のワーケーションがNHK/TV放映されました(12/17再放送)。※厳島神社から徒歩5分。



Hiroshima International Center TOPICS

研修部トピックス



前号に引き続き、ひろしま国際センター研修部で実施したプログラム・取組みをご紹介します。
プログラムの実施においては、
新型コロナウイルス感染拡大防止策を適切に講じています。

◆◆ 【JICA中国からの受託事業】 その1 広島平和学習プログラム

2020年度上半期は、新型コロナウイルス感染拡大により、JICA研修員が新たに来日することができなかったため、コロナ禍以前から日本に滞在しているJICA研修員を対象として、広島平和記念公園、平和記念資料館、原爆ドームの見学と有識者による講義等を内容とする「広島平和学習プログラム」を3回実施しました（参加者合計：14か国・23名）。

このプログラムは、参加者に、原爆・ヒロシマの真実、広島の復興と平和構築への取り組みについて理解し、世界の平和推進への意識を深めていただくことを目指して実施しています。参加者からは、「核兵器のない世界を支持していく」、「二度と原爆が使用されないようにと声をあげたい」といった熱い感想が寄せられました。



講義「平和都市ヒロシマの歩み」



原爆の子の像の前で

◆◆ 【東広島市からの受託事業】 その2 東広島バスツアー

10月17日、東広島市内に住む外国出身の方を対象に、東広島市の魅力を伝えるツアーを開催しました。まずは、市最北の豊栄町で、旬を迎えたリンゴ狩りです！様々な種類のリンゴの食べ比べができました。昼食のため立ち寄った「道の駅 湖畔の里 福富」では、竹細工の風車作りも体験しました。竹を編む細かい作業にひと苦労しながらも何とか完成させた後、午後は、市内唯一の海に面した町、安芸津へ。秋が深まり始めた正福寺山を登り展望台に到着すると「ホボロ島」が見えました。ホボロ島は虫の浸食で少しずつ小さくなっていると聞いてびっくり！

お天気にも恵まれ、楽しみながら東広島への理解を深めた一日となりました。



苦労した分、作品（風車）に愛着がわきます



もぎたてリンゴの美味しさを堪能！



牡蠣イカダが浮かぶ瀬戸内海をバックに



“HICワールドクッキング Online 「メキシコ・タコス編」”ぜひご覧ください！

研修部実施の異文化交流事業「ワールドクッキング」では、東広島市近郊にお住いの外国出身の方を講師としてお招きし、お国の料理と一緒に作って、各国の暮らしや文化を学んできました。今年度は、残念ながらコロナ禍により事業を中止していますが、特別にオンラインで各国料理のレシピをご紹介することになりました。

第1回目は、メキシコからの留学生サウルさんによる、本場のタコスです。レシピや手順を日本語でご紹介しています。
ぜひご覧ください（視聴無料です）！Facebookから「ひろしま国際プラザ」で検索してください(^^♪



Hello Hiroshima

Vol.111 January 2021



Hi everyone, こんにちは。
Aya here!

Aya

(Hiroshima Prefectural Coordinator
for International Relations)

The holiday season has arrived! Until this year, I have always had the privilege to ritually return home to spend Christmas and New Years with my family and friends, for which I am very grateful. However, this year I have been awaiting my favorite holiday with a mixture of both the usual anticipation, and as well as melancholy and homesickness.

It may seem strange, but the smell of a real Christmas tree is synonymous with the holiday for me. The fresh, sharp smell of pine needles!

And the taste of peppermint hot chocolate. I have gone around to all of the Starbucks in Hiroshima asking if they can make it, and one barista was even kind enough to humor my craving by making me an attempted version! But of course, while delicious, it was not (and could not) be exactly the same.

But most of all my family and friends. Especially my 6-year-old little sister, who I FaceTime every morning. She is currently obsessed with Harry Potter, and has promised me

she will fly to Japan and see me once she gets the magic broomstick she asked for this Christmas. Ahh my heart. I want to see all my loved ones in person, and give them huge hugs (and receive huge hugs) after this insane year.

As I am an American, however, that is categorically impossible to do at the moment, and I'm sure many of you are in the same situation! And when we will get to do that again is, unfortunately, for the most part, out of our control. And to the many people who have lost a loved one to this horrific virus or otherwise, I am so incredibly sorry.

Because of the current circumstances, now more than ever, is a good time to remind people how grateful we are to have them in our lives. So sending hugs to all of you out there who will be missing your loved ones this holiday season as well, and know you are not alone! And that when we are all able to gather for the holidays again, most likely (fingers crossed) next year, that we will treasure those moments all the more, and never take them for granted again.

I wish you all a Merry Christmas, and here's to a 2022 filled with good health and many joyful reunions. <3

Upcoming



E v e n t N e w s



多文化社会の「転ばぬ先の杖」セミナー 「多文化共生カラフル町内会」

フリースクール発の「子どもがつくる次世代型町内会」の発表とワールドカフェに参加し、それを手本に、ええじゅん発の「外国人参加型町内会」のプランを練り、模擬体験を行う。

日 1月9日(土) (自由参加～10日) 時 13時～16時 定 10名(ええじゅん募集分)
費 無料 以下は、自由参加です。懇親会(1000円)素泊まり(1500円)
場 廿日市市宮島町中江町327 宮島ゲストハウス三國屋
問 市民グループええじゅん 担当者：栗林(くりばやし)
TEL : 090-6436-0200 mail : kkurisan555@gmail.com

多文化社会の「転ばぬ先の杖」セミナー 「レインボーひなんじょ体験会」

災害時の避難所で配慮を必要とする要支援者として、高齢者、子ども、障がい者が思い浮かぶと思いますが、「女性」、「性的少数者」、「外国人」への配慮も必要となってきます。当事者目線で問題点と対策を見える化しましょう。

日 2月20日(土) 時 13時～15時 定 20名 費 無料
場 廿日市市新宮一丁目13番1号 あいプラザ3階 講座室
問 市民グループええじゅん 担当者：栗林(くりばやし)
TEL : 090-6436-0200 mail : kkurisan555@gmail.com



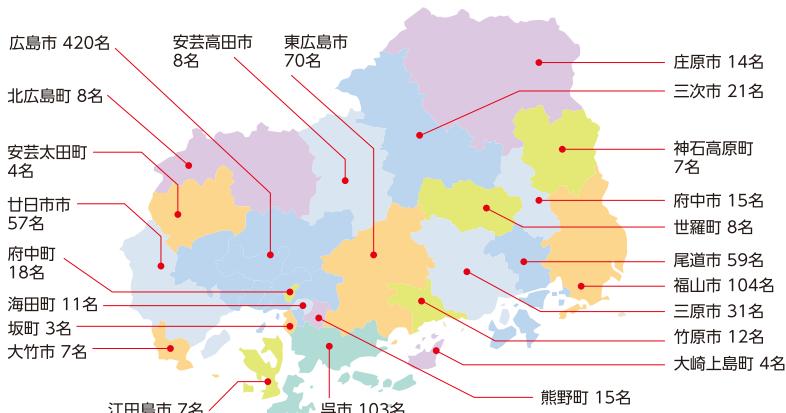
こちらJICAデスク



広島から世界へ! いつか世界を変える力になる!

これまで1,006名の広島県出身の隊員が世界で活躍しています!

※新型コロナウイルスの影響で日本に帰国した隊員は再派遣に向けて待機中です。（2020年10月現在）



■これまで派遣された広島県出身JICA海外協力隊(名)

区分	合計
青年海外協力隊／海外協力隊	875
シニア海外協力隊	91
日系社会青年海外協力隊／日系社会海外協力隊	30
日系社会シニア海外協力隊	10
※短期ボランティア含まず	
	2020年10月31日時点

<JICA海外協力隊>

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい！」という強い意欲を持つ20歳～69歳の日本国籍を持つ方が対象のボランティア事業です。派遣は原則2年間。衣食住を現地の人とともにしながら、互いに理解を深め、同じ目線で途上国の課題解決に取り組みます。また、帰国後も現地での経験を日本の地域や世界の発展に役立てることが期待されています。そんな草の根レベルのボランティアに、あなたも参加してみませんか？



帰国隊員レポート ～ザンビア共和国～

職種：医療機器 小谷 鮎さん



現地での活動内容

ザンビア共和国の首都ルサカにある、日本の支援で建てられた病院で医療機器隊員として活動していました。院内外で壊れた機械の修理や保守管理のサポート、使い方が分からず放置された医療機器も多かったため、医師や看護師への指導も行い、使用率向上を図りました。任期後半では、任国内のmedical engineering学科がある大学からの要請を受け、実習生の受け入れ指導を行いました。その時の実習生の一人が卒業後、私の配属されていた病院に就職し、同僚と共に医療機器の維持管理をサポートしています。

実習生指導の様子▶



▲配属先の病院



▲看護師への指導の様子

ザンビア共和国ってこんなところ！

ザンビア共和国はアフリカ南部に位置し、8ヶ国に囲まれた内陸国で、ジンバブエとの国境には世界三大瀑布で世界遺産のビクトリアフォールズがあります。日本の約2倍の国土を有し、70以上の部族が暮らしています。日本には馴染みがない国かもしれません、1964年の東京オリンピック開催中に独立を果たしたため、初めてオリンピックに参加したばかりか、歴史上初めて開会式と閉会式で異なる国名を名乗ることになった、日本と不思議な縁がある国です。



▲ビクトリアフォールズ

ザンビア共和国の食事



▲シマと副食

フォークやスプーンなどは使わず、熱々のシマを片手で少し捏ねて丸めてから、副食と一緒に食べるととても美味しいです。

ザンビアでは、アフリカの多くの地域と同様の「メイズ」と呼ばれる白トウモロコシの粉をお湯で練って作った「シマ（国によって呼び名が変わります）」が主食です。シマの味は無味で淡白、柔らかい餅のようなモチモチした食感です。シマの副食は、牛、鶏、ヤギなどの肉や、ティラピアなどの淡水魚、煮豆、オクラ、サツマイモの葉などの野菜を炒めたものをトマトスープと共に添えたものが一般的です。

フォークやスプーンなどは使わず、熱々のシマを片手で少し捏ねて丸めてから、副食と一緒に食べるととても美味しいです。

こだにあゆ 小谷鮎さんプロフィール

- ・広島市出身
- ・大学卒業後、臨床工学技士として病院に勤務。その後、2017年7月から青年海外協力隊の医療機器隊員としてザンビア共和国で活動。首都の病院に配属され、院内外の医療機器の点検・管理・修理及び使用方法の指導などを行う。

参加のきっかけ

幼い頃から海外に興味を持っていたことと、中学時代に協力隊事業について知ったことから、青年海外協力隊として派遣されることが夢の一つでした。

参加して思うこと

百聞は一見に如かずで、日本で想像していただけでは分からなかった問題点やその国の長所が分かり、自分の視野を広げてくれ、人生を豊かにしてくれました。

「グローバルリレーションズ・プログラム(GRP)」参加者の声

HIC article: Fahmida Akhterさん (Bangladesh)

My name is Fahmida Akhter and I am from Bangladesh. I came to Japan in March 2019 to start my graduate studies at Hiroshima University. After coming here, I applied for the GRP program and got the opportunity to stay at Hiroshima International Plaza (HIP). The first day I came to HIP was the season for Sakura and HIP offers one of the best views of Sakura in Saito. HIP has some amazing facilities for the students living here including a study room, cooking room, gymnasium, library and music room. My most favorite place is the library, from where one can lend books and DVDs. Their collection of books is versatile including travel guidance books, lots of cooking books, Japanese language books and fiction books from all over the world. I frequently use the cooking room and the gymnasium to organize small get together among the GRP members. HIP also provides free shuttle bus services to go to University as well as going to Saito Eki.

The best part for me while living at HIP is the different programs that has been organized by HIP. During my first year of stay at HIP, it has offered me

the opportunity to participate in different volunteer and cultural events. I would like to mention the program titled "The World Exciting Project" in September 2019 where I met with children from elementary school and talked to them in English to share different aspect of culture of my home country. I also attended another program named "Akitsu B&G Kaiyou Center" in August 2019 where I also met elementary school children and played a game with them.

The Corona Pandemic has changed the way we used to participate in social activities. Most of the students are now having online classes. HIP has also changed the meeting activities to online and we have limited number of outside activities now. This is a unique experience for all of us. Staying at home for most of time could be boring but I am happy that I have spent this time with my GRP friends around me.

Coming to a different country and living alone is always difficult but this experience has taught me a lot. I am grateful to the HIP staff for making every step easier for me through their cordial help.



グローバルリレーションズ・
プログラム(GRP)とは?

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的にした、外国人留学生のためのプログラムです。現在、9ヶ国19人の留学生が参加しています。

そのほか、レジデントアシスタントの日本人学生2名が入居し、彼らを支援しています。

★入居使用料

1泊800円 管理費2,550円／月
月額24,950円～27,350円(水道光熱費込み)

★毎年、春と秋に入居者を募集しています。
詳しくは「ひろしま国際プラザ」のHPをご覧ください。

がい こく じん た げん ご そう ごう そう だん まど ぐち

外国人多言語総合相談窓口

区分	相談時間	言語
一般(暮らし)相談	月～金曜日 10:00～19:00 土曜日 9:30～18:00	英語、中国語、 ベトナム語、韓国語、 タガログ語、ポルトガル語、 インドネシア語、タイ語、 スペイン語、ネパール語 ※遠隔通訳での対応を含む。
専門相談	在留資格(ビザ)	木・土曜日 10:00～16:00
	社会保険・労働条件	
	法律・人権	土曜日 10:00～16:00

※いずれの日も12:00から13:00までお昼休みをいただきます。

交流部&留学生活支援センター

〒730-0037
広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F
TEL.(082)541-3777 FAX.(082)243-2001
E-mail／hic@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

月～金 10:00～19:00 土 9:30～18:00
日・祝日および年末年始(12/28～1/4)はお休みです。



研修部(ひろしま国際プラザ)

〒739-0046
東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内
TEL.(082)421-5900 FAX.(082)421-5751
E-mail／hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

[情報センター・図書室]
月～金 10:30～12:30, 13:30～19:00
(12:30～13:30閉室)
土・祝日 10:30～19:00

※日曜および年末年始
(12/29～1/3)はお休みです。

※その他、臨時休室の場合は、

HPで随時お知らせします。

※NGO交流室は休室中です。

